

建学の精神とキリスト教 - 501 【第8回】

同志社150年史ハイライト — 建学の精神の変遷 —

同志社大学 神学部教授
良心学研究センター長
小原 克博

1

Overview

1. 同志社の教育理念の変遷
2. 同志社150年史ハイライト
3. 今回の課題

2

1

同志社の教育理念の変遷

現在の同志社の教育理念

私たちは創立者新島襄から、「**キリスト教主義**」「**自由主義**」「**国際主義**」による「**良心の涵養**」を伝統的な教育理念として受け継いただけでなく、本当に必要な教育をつねに問い、革新していく意思もまた同志社の教育への信念として受け継ぎました。（学校法人同志社HPより）

<http://www.doshisha.ed.jp/message/index.html>

3

4

同志社大学HPより

キリスト教主義	精神と品行を陶冶する活力を身につけ、知識の修得だけでなく、良心の涵養を促す
自由主義	自ら行動する力を育み、一人ひとりに自分の可能性を気づかせる
国際主義	外国語を話せるだけでなく、異なる価値観を受け入れ、そこから「何か」を見出せる人を育む

https://www.doshisha.ac.jp/information/history/educational_ideal.html

5

新島襄に見る「国際主義」

偏頗^{へんぱ}の愛^さ国^{なが}心一^な去^り乍^ら愛^国と云^う語^はすなわ^ち己^れの^一国^を愛^し、何^事も一^国の^為に止^{まり}て、兎^角愛^国より^偏頗^の心^生じ、我^が日^本を愛^{して}外^国人^を敵^視する^の憂^いな^き能^わず。古^来、人^物の往^々こ^の弊^害に^陥り、愛^国心^を憤^起せしむ^るに^は必^ず外^国人^を悪^ましむ^るに^あり^と云^われ、或^は議^論を^為し、或^は著^述を^為し、屢^々内^国人^をして外^国人^を憎^ましむ^るの策^略を^設くる者^ある事^少々^なら^ず。予^これ^を見[、]こ^れ彼^の先^生方^の心^の狭^くして識^者より笑^いを受^くべき策^略と云^うべき者^と了^知す。

(「愛人論」、『新島襄 教育宗教論集』291頁)

☞ 『新島襄365』【8月30日】

7

教育理念の起源

キリスト
• 基督教主義、自由主義

• 新島に起源がある。ただし、「自由主義」はもっぱら教会合同運動の文脈で使用されている（「自治」「自治主義」とセットになっている）。

• 国際主義

• 新島は使っていない。

• 海老名弾正（1856-1937、第8代同志社総長）が、新島の教育理念として強調する。



6

然^らば如^い何^かに^せばこ^の弊^害を^防ぎ得^るや。こ^れを^防ぐ^の道^他なし、各^人を^して愛^人の^心を^抱かしめ、こ^れを^行わしむ^るに^あり。愛^人と^は何^ぞ。且^つ如^い何^かに^せば人^を愛^し得^るや。

答、愛^人と^は他^人を^愛する^也。且^つ如^い何^かに^せば人^を愛^し得^るや。

予、西^聖基^督の^語を^用いこ^のに^答えん、すなわ^ち曰^く、「己^れを^愛する^如く爾^の隣^人を^愛すべし」。(同、294頁)

☞ 『新島襄365』【9月4日】

一人一人を愛するの説は大いに愛国よりは狭きに似たれども、人を愛するは、一^国に^限らず^世界^の人^をも^人と^見な^{して}こ^れを^愛せば、決^{して}区^域の^狭き者^にあ^らず。(同、298頁) ☞ 『新島襄365』【9月9日】

8

基督教主義とは？

これ基督教主義をもって、我が同志社大学**徳育の基本**と為す所以、而してこの教育を施さんが為に、同志社大学を設立せんと欲する所以なり。

吾人の目的かくのごとし。もしそれこの事を目して基督教拡張の手段なり、伝道師養成の目的と云う者は、未だ吾人が心事を知らざる人なり。吾人が志す所の者、**なおその上に在るなり**。吾人は基督教を拡張せんが為に大学校を設立するにあらず、ただ基督教主義は、実に我が青年の精神と品行とを陶冶する活力あることを信じ、この主義をもって教育に適用し、さらにこの主義をもって品行を陶冶する人物を養成せんと欲するのみ。（「同志社大学設立の旨意」1888年）

☞ 『新島襄365』【1月24日】

9

基督教主義の危機

- 1890年代の同志社——教育勅語、徴兵制度を背景として
 - 横井時雄の綱領削除問題 ☞ 『新島襄365』【1月5日】
- 1930～45年代の同志社——天皇統治の国体を背景として
 - 同志社教育綱領と国体 明徴 運動 ☞ 『新島襄365』【3月2日】
 - 良心碑の来歴 ☞ 『新島襄365』【3月9日】
- 1990年代の同志社——社会の世俗化、大学改革を背景として
 - 「良心教育」、「建学の精神」（かつては「立学の精神」と呼んでいた）の登場

11

同志社の精神的遺産——湯浅八郎

- 湯浅八郎（1947年から二期目の総長を務める）は、次の四つを「同志社の精神的遺産」として強調。1）新島先生、2）キリスト教主義、3）国際主義、4）民主主義

- 湯浅は、同志社は三流大学であると断言して、はばからなかった。しかしこの四資源があるおかげで、同志社はその輝かしい歴史と伝統をうけついで、世界に貢献できる教育機関たらしめることができる、と主張した。（『同志社百年史』1293-94頁）

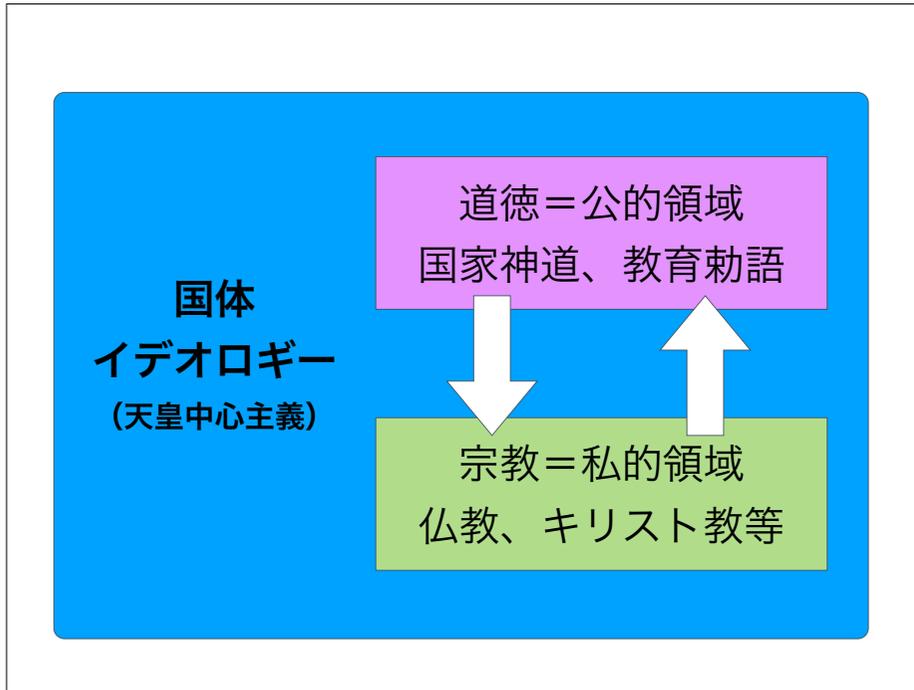


10

2

同志社150年史 ハイライト

12



13

新島没後の混乱期 (1891-1911)

- ・「同志社綱領」削除問題 (1897年、横井時雄)
 ↳ 『新島襄365』【1月5日】
- ・「文部省訓令第12号」 (1899年、宗教教育禁止令) → 1900年、中学校を廃止、普通学校を設置
- ・自由主義神学がもたらした混乱と対立
- ・キリスト教社会福祉の源流—「同志社派」の誕生

14

同志社諸学校の発展 (1912-30)

- ・この時代、同志社は大学、中学、女学校の三つの学校から成っていた。
- ・原田助^{たすく} 総長 (1907-19) と国際主義の始動
- ・大正デモクラシーと同志社
 - ・海老名弾正総長 (1920-28)

15

原田助^{たすく} 総長と国際主義の始動

- ・原田助：熊本洋学校で学び、1880年に同志社に編入、新島の薫陶を受ける。1885-87年、神戸教会牧師。1907-19年、同志社第7代社長 (総長)。
- ・時代背景：日露戦争後、国家主義 (膨張主義) に対し、国際主義への関心が高まっていた。
- ・原田の国際主義の基本は**世界宗教としてのキリスト教**。キリスト教信仰と国家 (天皇) への忠誠は両立すると考えた。ただし、教育の目的を国家を超えた「人類」に向けていた。



16

- 原田 助 「教育の根底」 (1906年)
 - 1906年に出された文部大臣による訓令に対する批判。訓令は、国家の将来のために学生が規律を正すことを強く求めた。
 - 「夫れ教育の目的は人類をして其天賦の靈能を發揮せしめ天と人に対する本分を尽さしむるにあり、是点に於て教育と宗教は全然其目的を一にす、教育者たる者此信念に依らず徒に芸を授け若しくは規律を勵行して以て自修克己の精神を喚發せんとするも難い哉。」
「教育の根底」 (『信仰と理想』1906年、214頁)
- 原田は積極的な国際交流を進めた。また、国内外から多様な人材を招き、学生の国際感覚を養うことに努めた。

17

戦時下の同志社 (1931-45)

- キリスト教系の学校に対する軍部の介入と弾圧
- 同志社事件：神棚事件 (1935年6月)、国体^{めいちょう}明徴論文掲載事件 (1936年1月)、勅語誤読事件 (1937年2月)、上申書事件 (1937年3月)、チャペル籠城事件 (1937年7月)
- 「同志社教育綱領」 (1937年2月26日制定、3月3日公表)、1937年12月、湯浅八郎の辞任
- 良心碑の建立 (1940年11月29日)

19

大正デモクラシーと同志社

- 海老名弾正総長 (1920-28) による時代思潮の認識：(1) 人格教育の普及、(2) 大正デモクラシーの高揚、(3) 国際連盟の成立に象徴されるインターナショナリズムの風靡、(4) 女性の権利意識の覚醒
- いずれも、新島の教育理念に含まれていると海老名は主張した。

18

同志社の再建 (1945-60)

- 新制大学と同志社の学校改革
 - 1948年、神学部・文学部・法学部・経済学部。1949年、商学部・工学部
- 一般教養教育の導入とオーティス・ケーリ
 - 教養学部 (1948~51年)
- キリスト教学校の再建

20

学生運動と大学改革（1961-80）

- 学園紛争の時代
 - 1969年9～12月、教室での授業はほとんど行われなかった。
- 大学封鎖・自主講座、「同志社自由大学」（鶴見俊介・矢内原伊作）
☞ 『新島襄365』【3月30日】

21

二校地問題の時代（1981-2003）

- 田辺移転（1986年）と大同志社構想
 - 田辺校地（実験系）
 - 今出川校地（文系）

22

新設学部の展開（2004-現在）

- 新設学部の理念
 - 6学部体制 → 14学部体制
- 幻の医学部設置構想
- 150周年から先を見据えた同志社精神（教育理念）の再考

23

3 今回の課題（600～800字）

- 今回の講義の中で、あなたの印象に残った（重要であると思った）点（複数可）を、その理由と共に述べてください。
- 『新島襄365』【9月1日】～【9月30日】を読み、もっとも関心をひかれた日付を《二つ》あげ、それぞれ、その理由を述べてください。

24